

第 回症例検討会

Case

2021年9月13日

筋筋膜性疼痛(Myofascial Pain Syndrome: MPS)

痛みを訴えるがん患者の31-45%にMPSを認め、
その80%が体幹背側にある。1)2)

1)Ishiki. J Bodyw Mov Ther. 2018;22:328-32

2)Hasuo. J Palliat Med. 2017;20:1085-90

MPSは筋肉の過緊張や過伸展が原因で起こる筋肉の痛み

- 特徴
- ①トリガーポイント(圧痛点)がある。
 - ②筋肉に圧痛を伴う索状物や結節がある。
 - ③圧痛に再現性がある。

筋筋膜性疼痛の治療

一般的に鎮痛薬の効果は限定的

トリガーポイント注射 : 局所麻酔薬(ネオビタカイン、リドカイン)、ステロイド、ボツリヌストキシン、生食など

理学療法 : 筋膜リリース、ストレッチ、鍼灸治療

【症 例】 40代 女性 乳がん術後 筋筋膜性疼痛

【主 訴】 右肩周囲の痛み 動かしにくい 不眠

【現病歴】 右乳がん Stage II B

2020年3月 右乳房痛を自覚

5月 右乳房部分切除＋腋窩リンパ節郭清

(化学療法)＋内分泌療法＋放射線療法 → 化学療法希望せず

7月 タモキシフェン開始

8月～9月 放射線治療

【既往歴】 特記事項なし

【生活歴】 飲酒なし、喫煙なし

【社会歴】 会社員事務職、20代娘と二人暮らしから独居になったばかり

【介入時使用薬剤】タモキシフェン、アルプラゾラム0.4mg、加味逍遙散

【鍼灸の経験】 なし

【一般身体所見】 身長165 cm 体重58 kg

【局所所見】 筋緊張・圧痛……右大円筋、右肩甲下筋、右棘下筋、僧帽筋、肩甲挙筋、
胸鎖乳突筋

右肩関節可動域 外転85度 屈曲90度

動作時痛箇所 右上腕二頭筋、右上腕三頭筋、右三角筋

【東洋医学的情報】 寒熱 : 右乳房周囲にほてり感、手足末梢に冷感

水滯 : 右上肢軽度浮腫

脈診 : 緊、軟

腹診 : 下腹軟

【A(assessment) 評価】 RT後の皮膚線維化に伴うローテーターカフの筋筋膜性疼痛、
肝虚証

【P(plan) 治療計画】 鍼灸治療3か月 ローテーターカフ及び頸部筋の筋緊張緩和
必要に応じてトリガーポイント注射

○トリガーポイント注射

1回目: 右僧帽筋、斜角筋、棘下筋、大円筋、肩甲下筋、三角筋前面

2回目: 右棘上筋、棘下筋、小円筋、肩甲下筋

○鍼灸治療

取 穴: ①仰臥位 太衝、曲泉、太溪、湧泉、太淵など

②腹臥位 天柱、膏肓、肺・肝・脾・腎兪、天宗など

③その他 筋緊張・圧痛・動作時痛箇所

刺鍼法: 浅刺 置鍼10分弱 深さ: 3mm 得気: 無 通電: 無

接触鍼、灸頭鍼、運動鍼

温罨法: ホットパック・台座灸



経過

| | | |
|-----------|------|---|
| 2021年1月下旬 | 初診 | 右肩の痛みNRS 8 右肩関節外転85度 鍼灸に対して不安を感じている様子。 右上肢と放射線照射野に刺入鍼は基本行わないことを伝え、施術は軽めに行う。 |
| 2月上旬 | 3回目 | NRS 5 TPI実施 。TPI後右上肢への刺入鍼を医師に確認し 4回目から刺入鍼実施 ⇔ リンパ浮腫外来担当看護師に事前に報告 |
| | 4回目 | 来室時に黙って静かに流涙しながら入室 「自分でも自分の気持ちかわからない 1日に何回か誰もいない時涙が出てきてしまう。」 → 気持ちの辛さについて緩和医師に報告 → 緩和医師より精神腫瘍科コンサルト |
| 2月下旬 | 6回目 | 肩の痛みがぶり返す NRS 7 右肩外転100度 |
| 3月上旬 | 7回目 | <u>2回目TPI実施</u> |
| 3月下旬 | 10回目 | NRS 3 右肩外転150度 「気持ちが落ち込む」 |
| 4月上旬 | 12回目 | NRS 5 右肩外転150度 「今一番不安な事は鍼灸が終わってしまうこと」 → 継続先について相談 |
| 4月下旬 | 14回目 | NRS 3 外転160度 「肩の痛みで困っていることは今はない」 鍼灸介入終了 緩和医療科終了 精神腫瘍科受診継続 |

考察

- TPIと鍼灸介入により、右肩関節の痛み(NRS8→3)と、外転可動域(85度→160度)が改善された。
- TPIは速やかに筋肉を緩めるが、局所麻酔薬は1回の使用量が制限されるため、MPSの範囲が広いとTPIを施せず筋硬結が残る場合がある。TPIと鍼灸のハイブリッド治療では、この残った箇所には鍼灸が集中して介入することでTPI単独よりも症状がより緩和される可能性がある。またTPIで硬い筋肉が緩めば、その分全身調整に時間を割くことが可能となるなど、鍼灸治療にとってもメリットがあった。
- 乳がん術後でリンパ浮腫のある患者の鍼灸治療は、患者だけでなく、医師や看護師も、誰もが不安を覚えると理解し、その不安を一つずつ取り去る事が大切である。⇔ コマメな報告・連絡・相談

ご清聴ありがとうございました。